

【記入例】電離放射線健康診断個人票記入例（様式第1号）

様式第1号(第57条関係)						
電離放射線健康診断個人票						
氏名	愛知 一郎		性別	男	生年月日	S36年5月26日
放射線業務の 経歴(他の事業 におけるものを 含む。)	期間	年月日から 年月日まで	年月日から 年月日まで	年月日から 年月日まで	年月日から 年月日まで	①前回の健康診断 までの実効線量当量 mSv ( mSv)
	業務名	無				
②被ばく歴の有無			当所に勤務以前に電離放射線の使用経験なし			
③判定と処置						
健康診断年月日	H22年2月3日	H22年5月10日	H22年11月29日	H23年5月29日		
現在の業務名	放射線照射	放射線照射	放射線照射	放射線照射		
前回の健康診断 当量 組 織 線 量 に 受 け た	実効線量当量	外部被ばくによるもの(事故等によるものを除く。)(mSv)				
		内部被ばくによるもの(事故等によるものを除く。)(mSv)				
		④事故等によるもの(mSv)				
	計(mSv)	0	0	0	0	
	組織線量当量	眼の水晶体(mSv)				
	皮膚(mSv)					
	その組織他( ) (mSv)					
	その組織他( ) (mSv)					
	その組織他( ) (mSv)					
	その組織他( ) (mSv)					
血液	白血球数(個/μl)	7800				
	リンパ球(%)	38				
	単球(%)	7				
	異形リンパ球(%)					
	好中球	桿状核(%)	8			
		分葉核(%)	45			
		好酸球(%)	5			
		好塩基球(%)	1			
		赤血球数(万個/μl)	485			
		血色素量(g/dl)	15.5			
	ヘマトクリット値(%)	45.5				
	その他					
その他の検査						
全身所見						
自覚的訴え						
健康診断(眼及び皮膚の検査)年月日	H22年2月3日	H22年5月10日	H22年11月29日	H23年5月29日		
眼	水晶体の混濁(有無)	無	無	無	無	
	発赤(有無)	無	無	無	無	
皮膚	乾燥又は縦じわ(有無)	無	無	無	無	
	潰瘍(有無)	無	無	無	無	
	爪の異常(有無)	無	無	無	無	
参考事項	雇入れ健診	定期	定期	定期		
⑤医師の診断	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし		
健康診断を実施した医師氏名	東京 太郎	東京 太郎	東京 太郎	東京 太郎		
⑥医師の意見	通常勤務	通常勤務	通常勤務	通常勤務		
意見を述べた医師氏名	東京 太郎	東京 太郎	東京 太郎	東京 太郎		

←個人情報

←受診日、業務名

←被ばく線量  
(蛍光ガラス線量計より)

←白血球数、白血球百分率等

←白内障に関する眼の検査及び皮膚の検査

←医師の診断  
・異常なし ・要再検査  
・経過観察 ・要精密検査  
・要治療 等  
←医師の意見  
・通常勤務 ・就業制限  
・要休養 等

- (備考)
- ①の欄は、平成13年4月1日以後の実効線量の合計を記入する。また、同欄の( )内には平成13年3月31日以前の集積線量を記入すること。
  - ②の欄は、被ばく歴を有する者は、作業の場所、内容及び期間、放射線障害の有無その他放射線による被ばくに関する事項を記入すること。
  - ③の欄は、本票記載の健康診断又は検査までの期間に採られた放射線に関する医学的処置及び就業上の措置について記入すること。
  - ④の欄は、(1)事故、(2)緊急作業への従事、(3)放射線物質の摂取、(4)傷創部の汚染及び(5)別表に掲げる限度の10分の1以下にすることが困難な身体汚染によって受けた実効線量又は推定量(受けた実効線量を推定することも困難な場合には、被ばくの原因)を記入すること。
  - ⑤の欄は、異常なし、要精密検査、要治療等の医師の診断を記入すること。
  - ⑥の欄は、健康診断の結果、異常の所見があると診断された場合に、就業上の措置について医師の意見を記入すること。